

水ひとつなぎ

2 班

山口大学

勝目季仁

関西大学

川上晋平

筑波大学

下山万理子

福井大学

田中順己

大阪大学

中村太一

前班の問題を受けて、

コンセプト

越前大野の記憶が、人と人をつなぐ

人を呼ぶツールとしての水^{ミヅ}を媒介に、

住民と外の人との接点となる場所を具体的に提案

まちの至る所で水の流れる音が聞こえてくる。

道と水路が交わったり、並んだり、離れたり、

水路が道をつくっている



大野のまちの基盤 = 水

水系の歴史的変遷

- ・江戸時代

町割り、使う人によって水源が分かれていた。

Ex) 寺町の水源→寺町の寺社

本願（寺）清水→町人町の人々

御清水→殿様の米を洗うため

- ・昭和

清水が市内に**40～50**カ所存在し、住む人たちの生活の中にとけ込んでいた。

Ex) 野菜や果物を洗う

酒を冷やす

水遊び

- ・現在

町の中を歩いていても、住民と水の関わりが見えにくい。

観光を意識したハード整備がなされている。

清水の湧く場所も減っている。

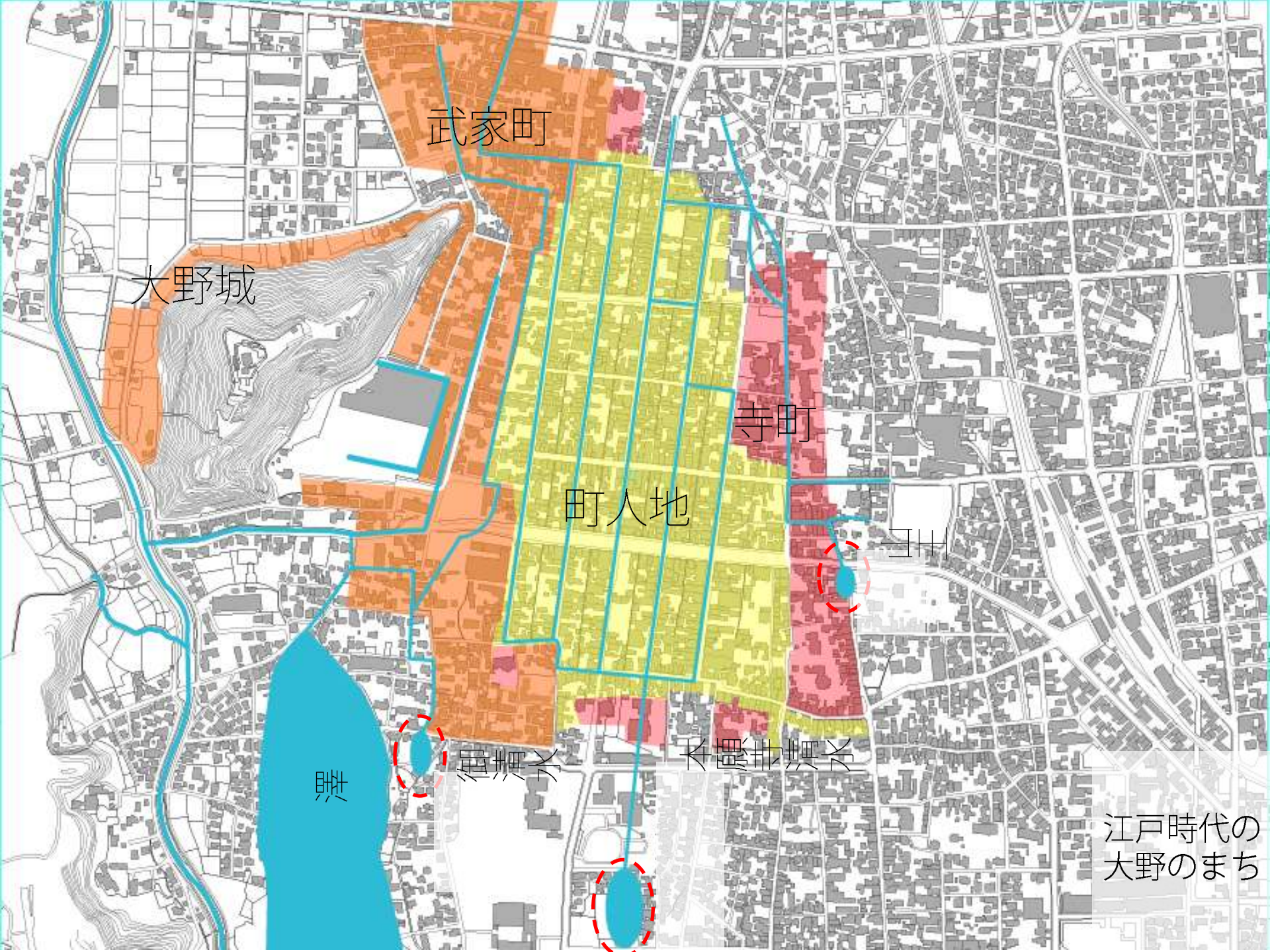


江戸

江戸川

本町

江戸時代の
水系の位置



武家町

大野城

寺町

町人地

三田

大野

大野城

大野城

江戸時代の大野のまち

水系の歴史的変遷

- ・江戸時代

町割り、使う人によって水源が分かれていた。

Ex) 寺町の水源→寺町の寺社

本願（寺）清水→町人町の人々

御清水→殿様の米を洗うため

- ・昭和

清水が市内に**40～50**カ所存在し、住む人たちの生活の中にとけ込んでいた。

Ex) 野菜や果物を洗う

酒を冷やす

水遊び

- ・現在

町の中を歩いていても、住民と水の関わりが見えにくい。

観光を意識したハード整備がなされている。

清水の湧く場所も減っている。



昭和**34**年：本願寺清水
「夏の本願清水」

清水の周りで水遊びする子供たち

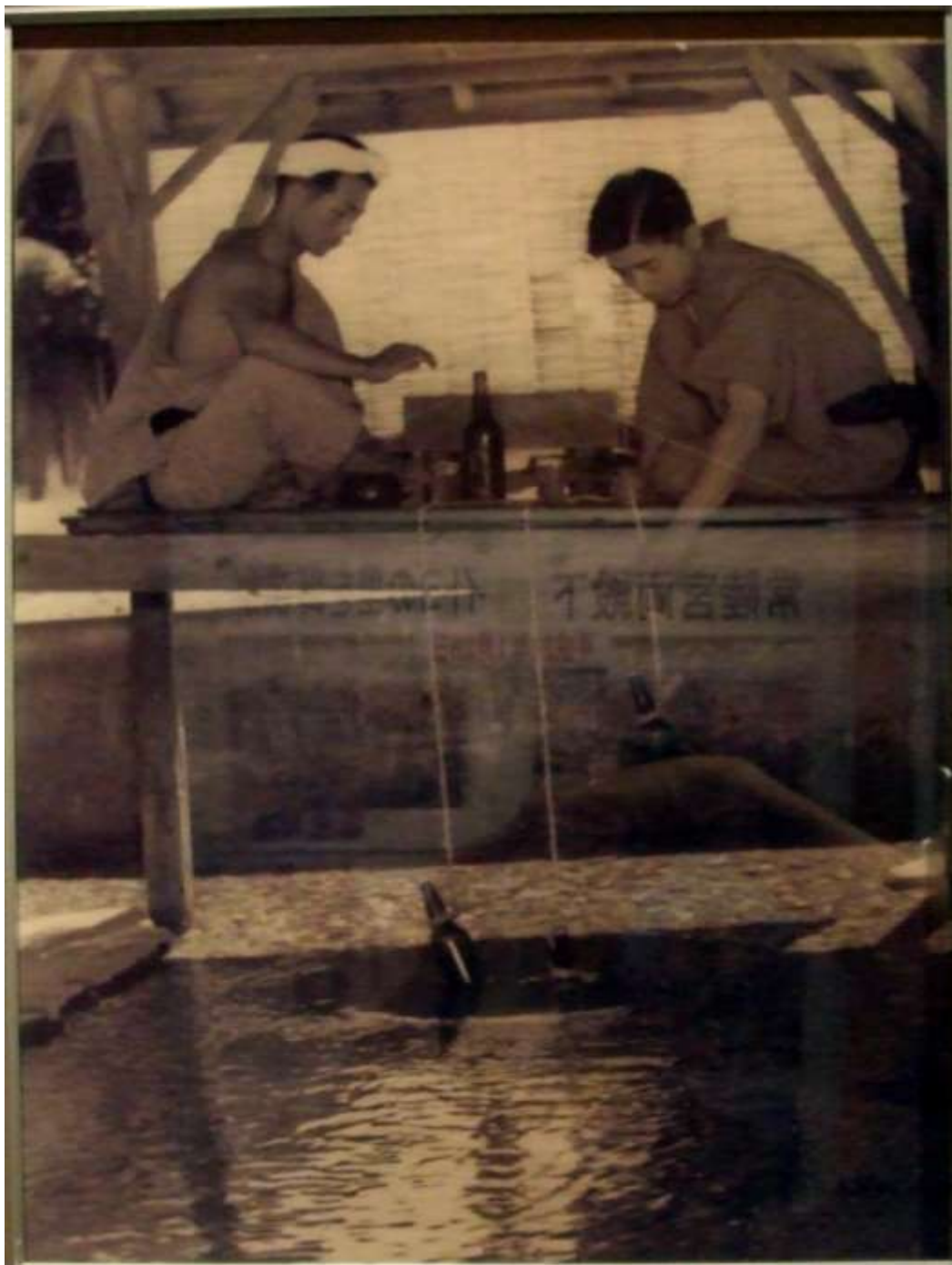




昭和**32**年：義景清水
「義景清水の風景」

野菜を清水で洗う女性たち





昭和**30**年：御清水
「最高の贅沢」

酒を清水で冷やし、
囲碁をする男性たち



水系の歴史的変遷

- ・江戸時代

町割り、使う人によって水源が分かれていた。

Ex) 寺町の水源→寺町の寺社

本願（寺）清水→町人町の人々

御清水→殿様の米を洗うため

- ・昭和

清水が市内に**40～50**カ所存在し、住む人たちの生活の中にとけ込んでいた。

Ex) 野菜や果物を洗う

酒を冷やす

水遊び

- ・現在

町の中を歩いていても、住民と水の関わりが見えにくい。

観光を意識したハード整備がなされている。

清水の湧く場所も減っている。

現在の清水



七間清水



御清水

今では、清水は観光に偏り過ぎてしまい、生活から遠い存在となってしまっている。

現在の水路



隠された背割水路



住宅地の中のふさがれた水路

住民と水との関わりが見えにくくなっている場所がある。

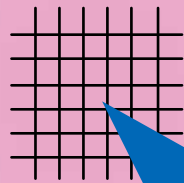
問題提起

住民と観光客の隔絶

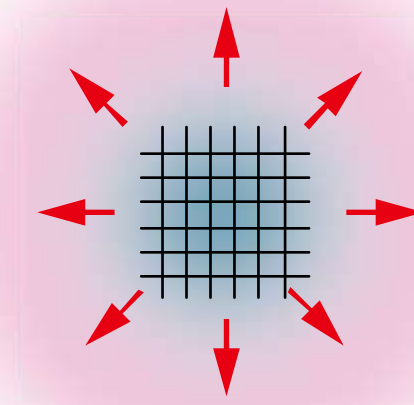
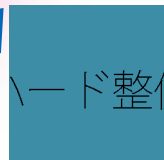
現在、大野では観光客を呼び込もうと中心部に多くの整備が行われている。

しかし、私たちがまち歩きをして感じたこととして、この整備が観光に偏っていて、住民の生活と密接であった水は遠い存在となってしまってる。

住民



ハード整備



問題点から

大野の水には人と人をつなぐ
ポテンシャルがある

観光に偏り住民の生活から
離れた整備

実現する為に大野の水をツールとして、
具体的なシーンを提案

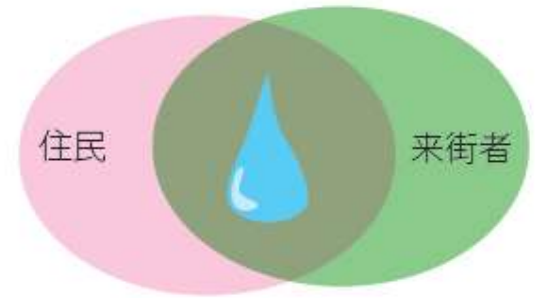
昭和頃まで

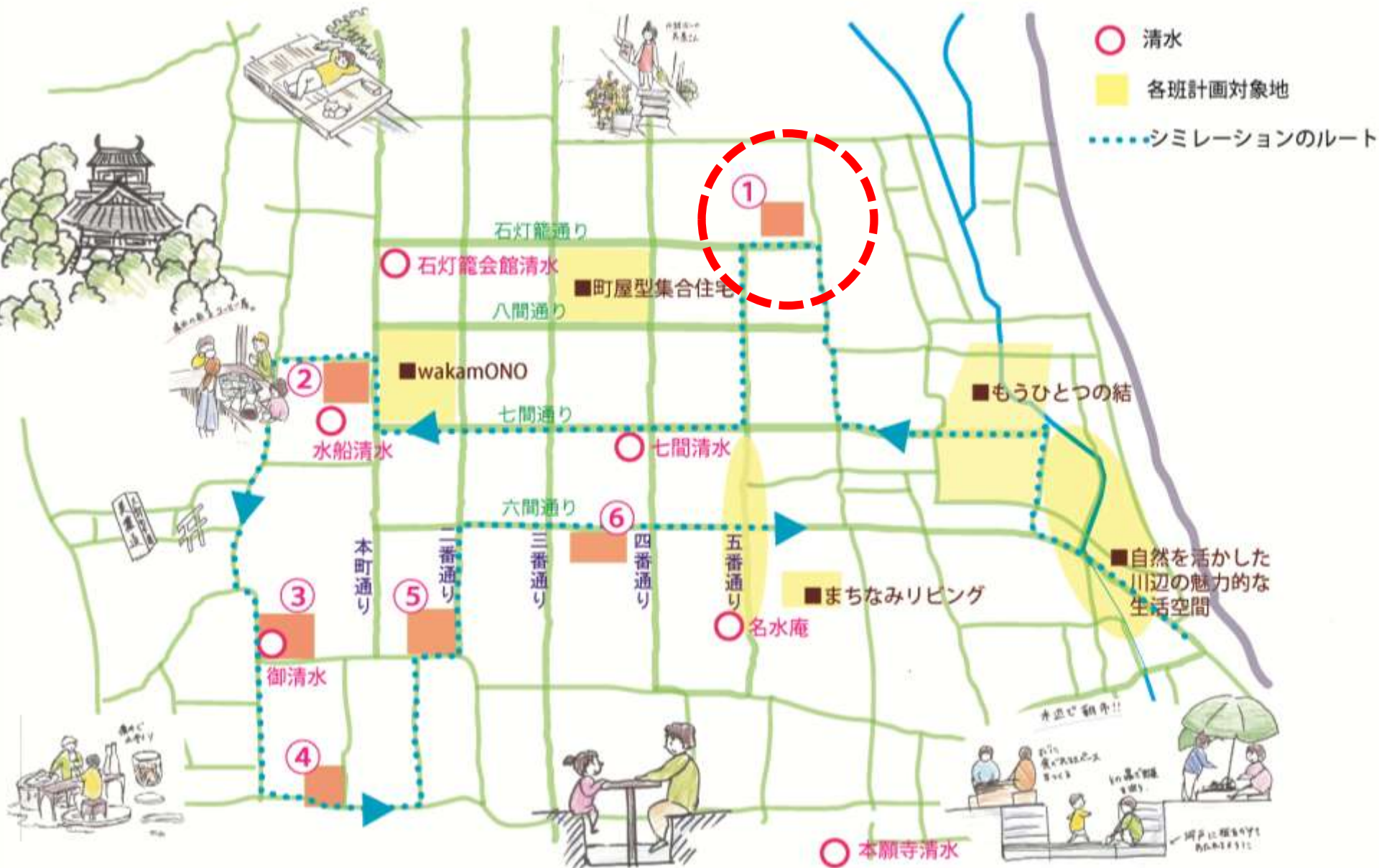


現在

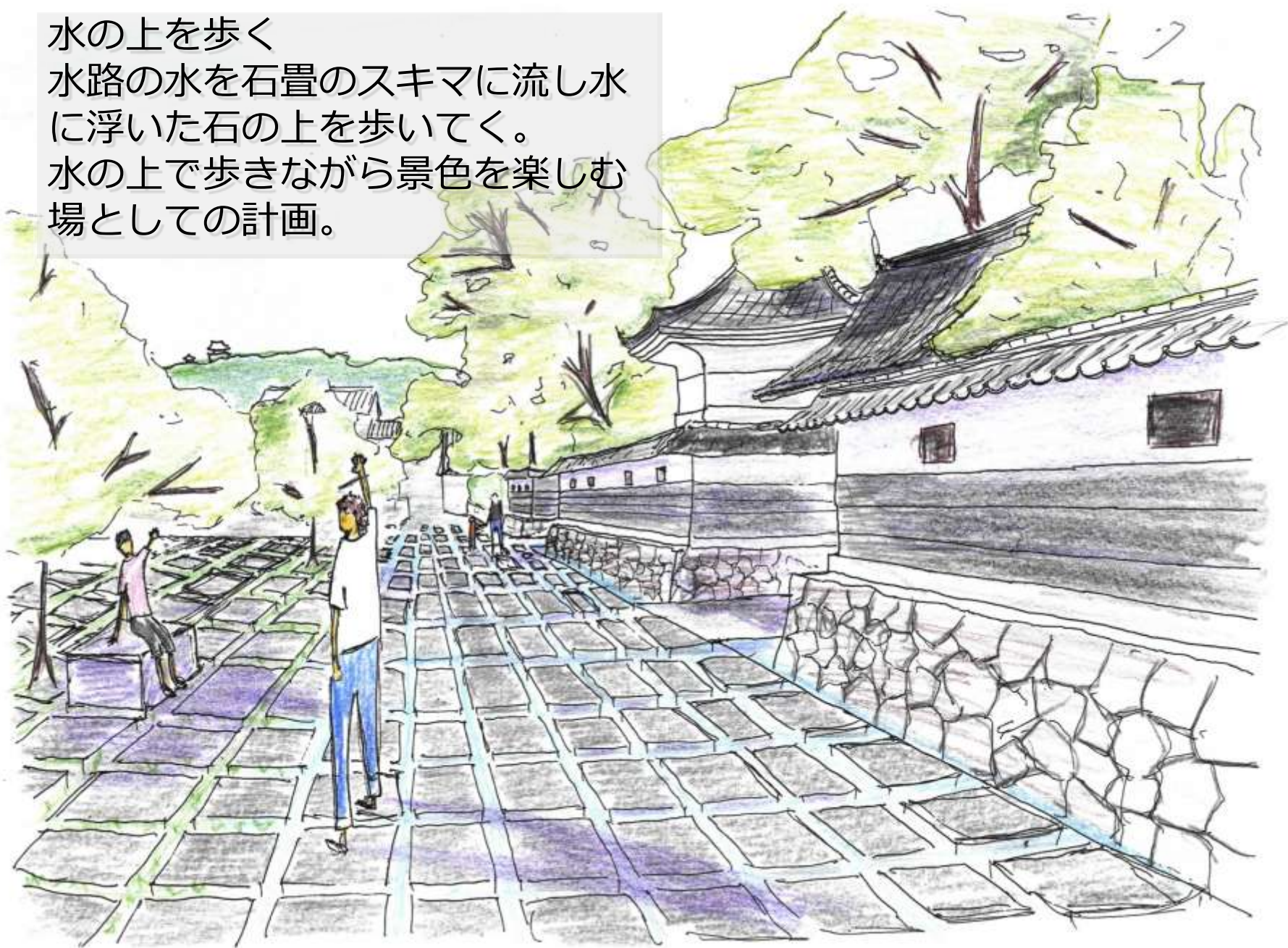


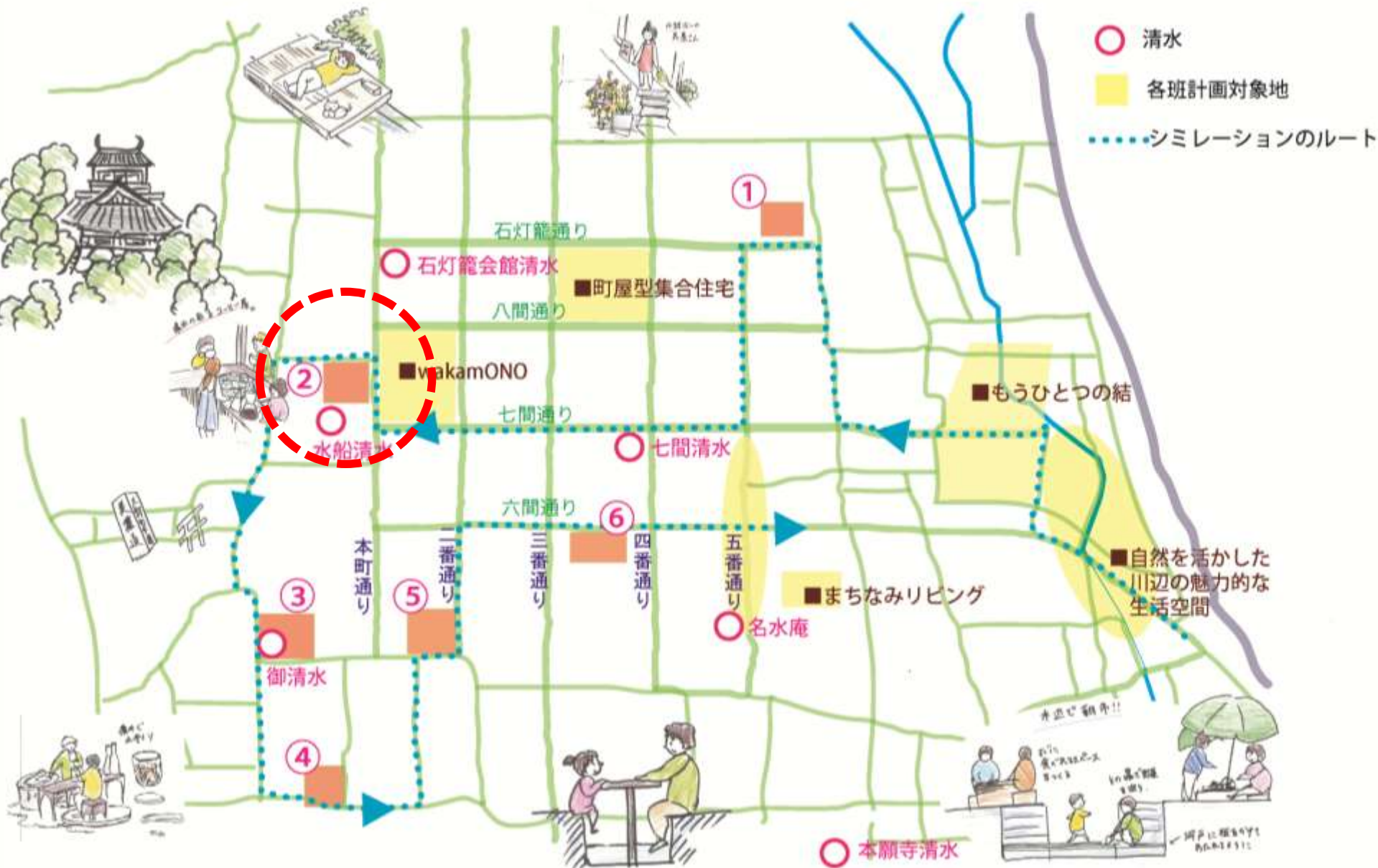
将来像





水の上を歩く
水路の水を石畳のスキマに流し水
に浮いた石の上を歩いてく。
水の上で歩きながら景色を楽しむ
場としての計画。



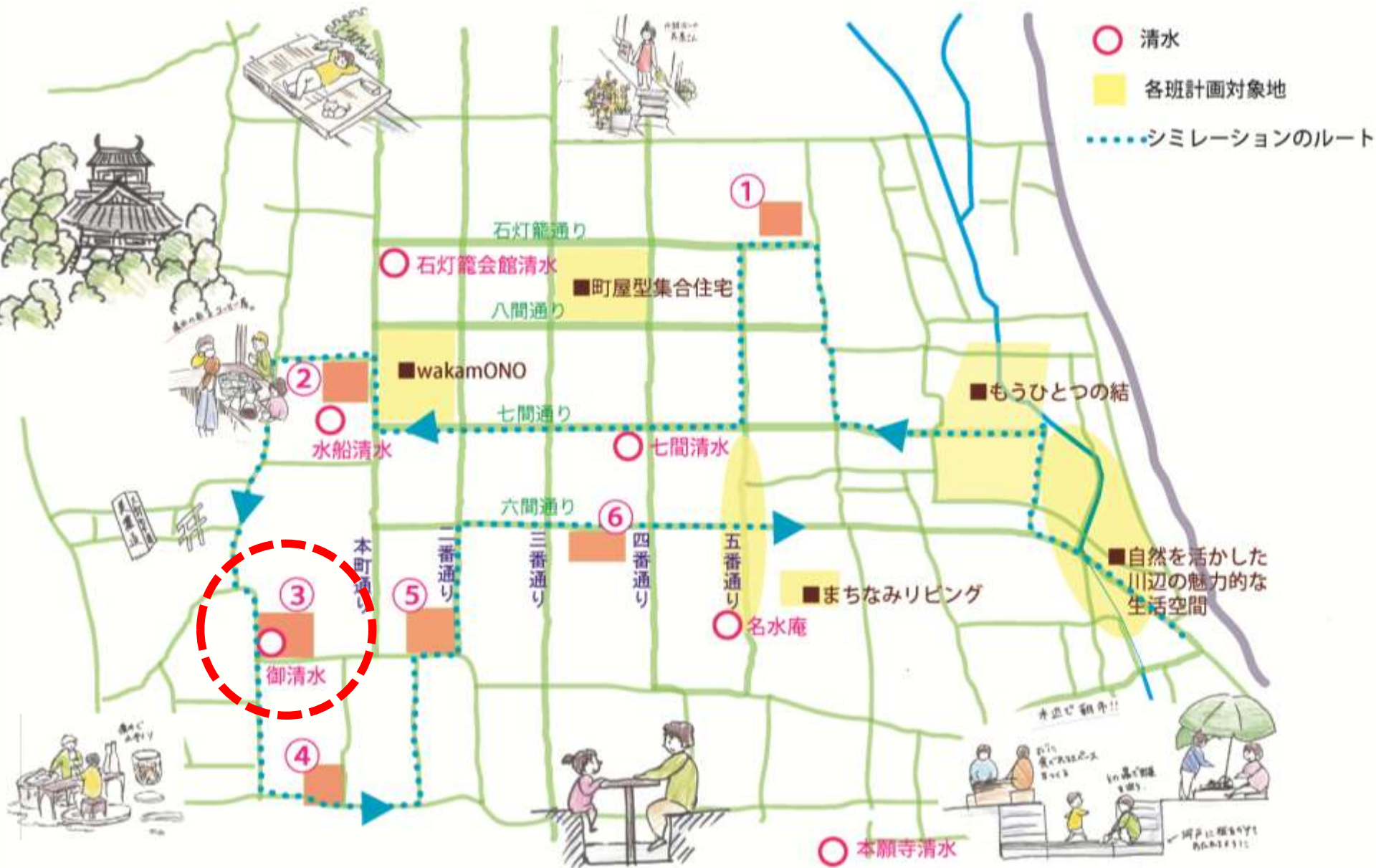


水の映りこみと城への眺望
お城が切り取られてみえる細い路地
地
車が通るには少し狭い
そんな路地に大きく水を通し、
水への映り込みを現代の風景に加え
新しい風景をつくり出す。



水の映りこみと城への眺望
お城が切り取られてみえる細い路地
地
車が通るには少し狭い
そんな路地に大きく水を通し、
水への映り込みを現代の風景に加え
新しい風景をつくり出す。





隣り合う生活と観光

『今』：御清水のすぐ前に住宅があるのに段差が大きいいため関係が持ちにくい。

『計画』：御清水の前の住宅を清水の高さまで引き込む。

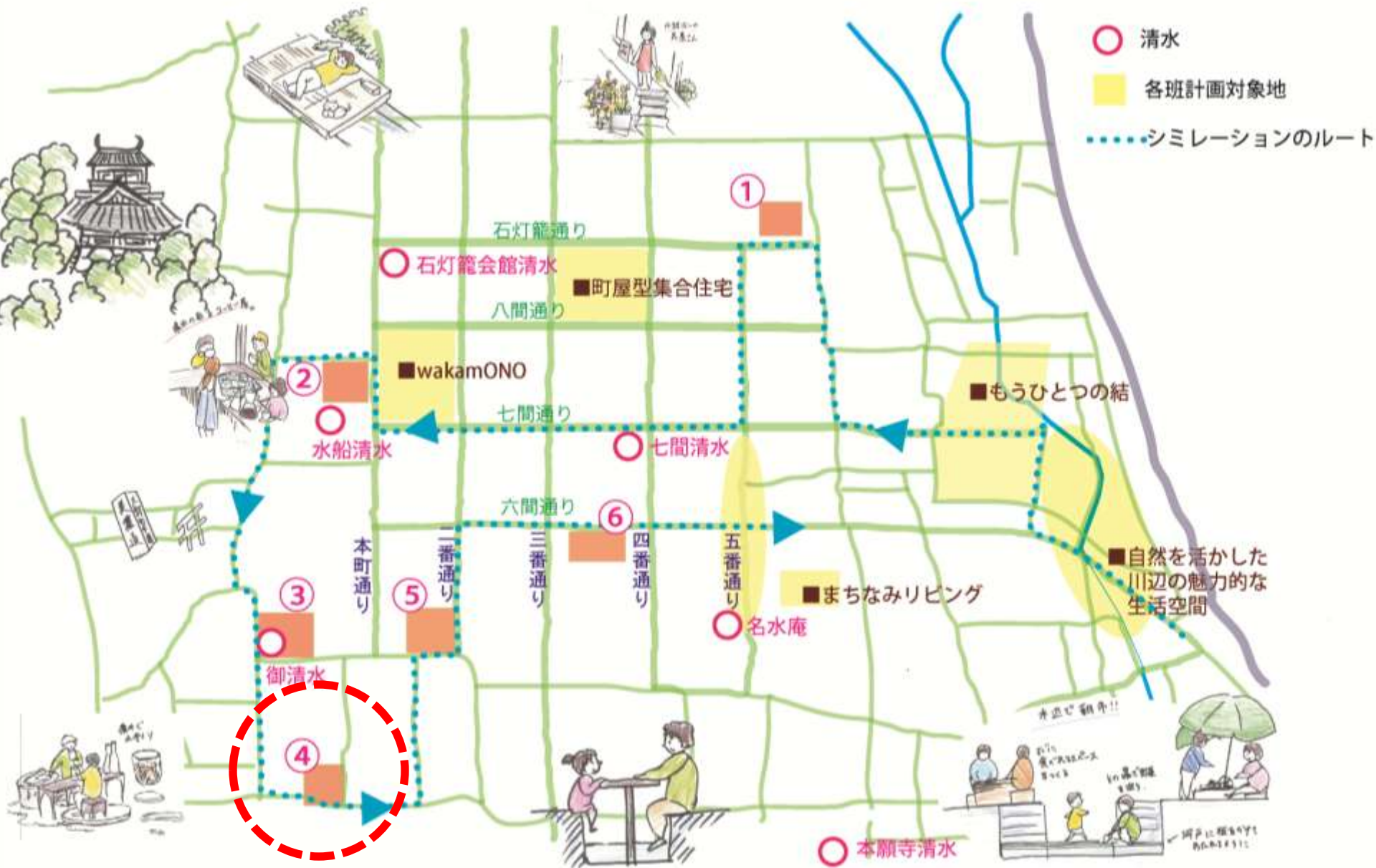


隣り合う生活と観光

『今』：御清水のすぐ前に住宅があるのに段差が大きいいため関係が持ちにくい。

『計画』：御清水の前の住宅を清水の高さまで引き込む。





水へのアプローチ

家の前のふたをされた水路。そのふたを高さを変え大きさを
変えることで住んでる人も来る人もそのふたの隙間から水が
良く見え近づくことが出来る。



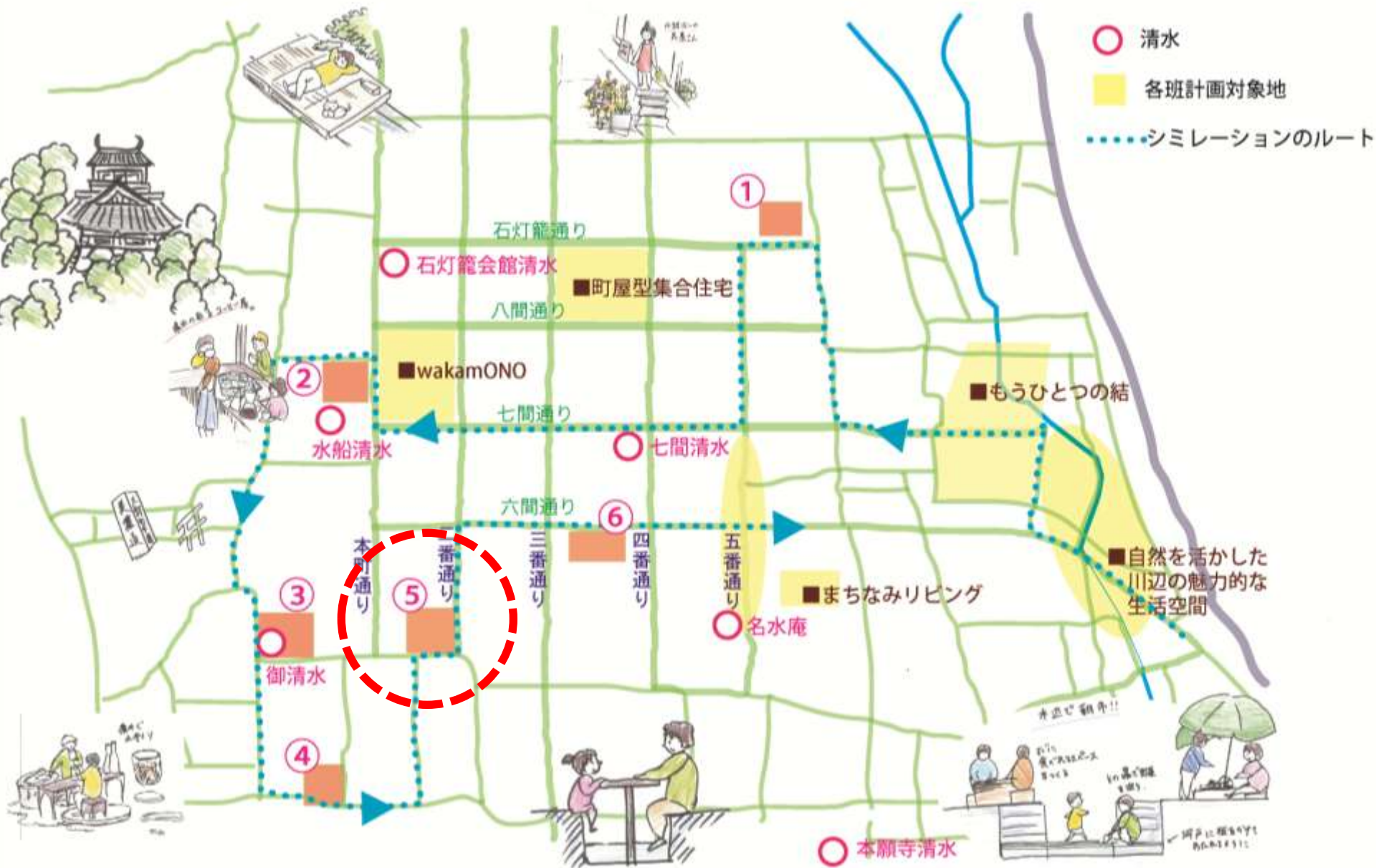
住宅地の一角

水へのアプローチ

家の前のふたをされた水路。そのふたを高さを変え大きさを
変えることで住んでる人も来る人もそのふたの隙間から水が
良く見え近づくことができる。



住宅地の一角



日常的な水とのかかわり

住宅の前の水路を出すことで、住宅の前に水を隔てた空間が出来る。ここを整えていくことでおしゃべりや水を見ながらくつろぐちょっとした場が出来る。例えばこの水を打ち水にしたりBBQをしたり色々アクティビティが生まれるのではないかな。

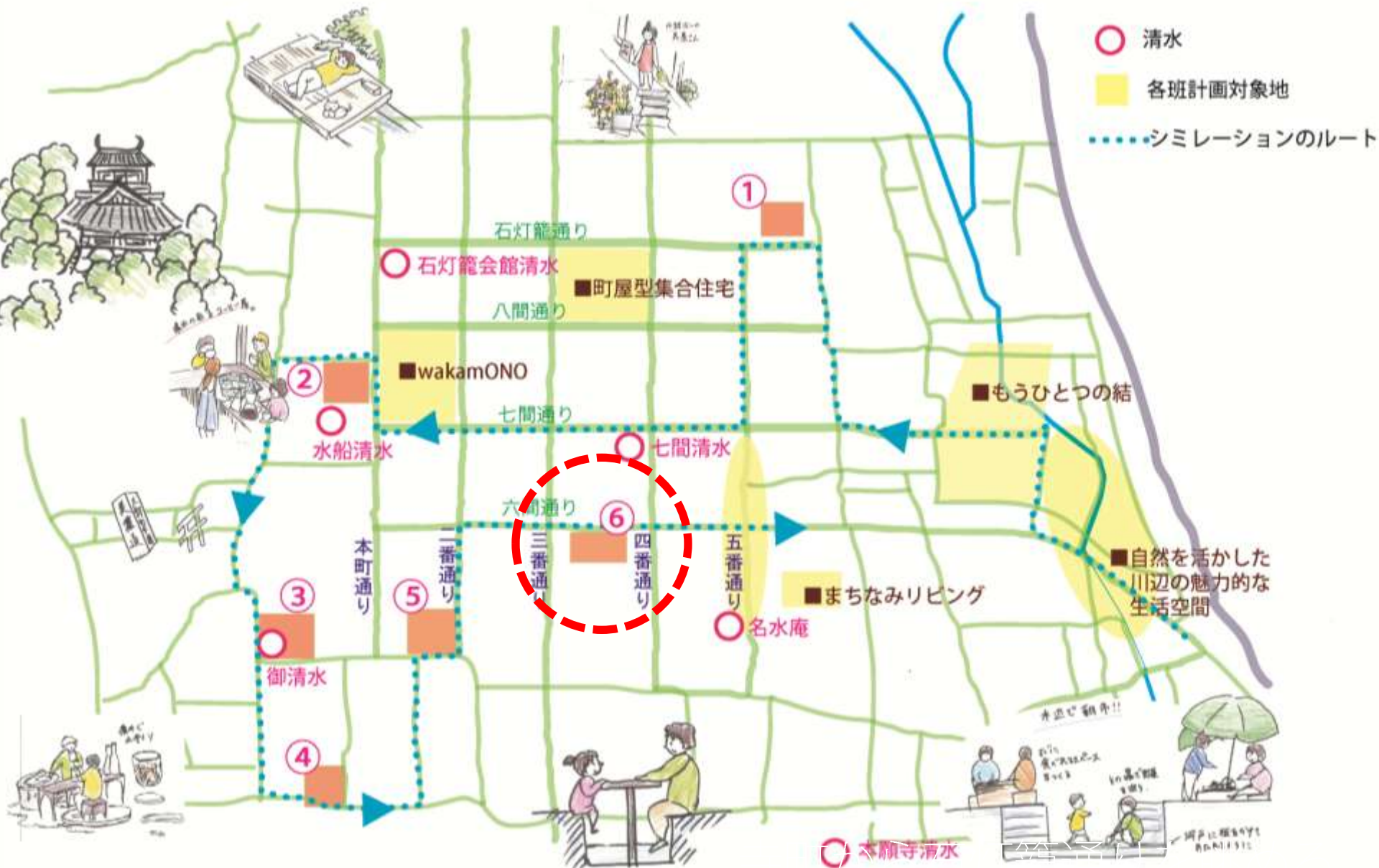
二番通り



日常的な水とのかかわり
住宅の前の水路を出すことで、住宅の前に水を隔てた空間が出来る。ここを整えていくことでおしゃべりや水を見ながらくつろぐちょっとした場が出来る。例えばこの水を打ち水にしたりBBQをしたり色々アクティビティが生まれるのではないかな。



二番通り



水盤を使った宣伝
六間通りを歩いているとよく見る駐車場。車の交通の多い通りなので、便利だけどたくさんあると目立つ。そんな使われていない駐車場を利用してその持ち主や他の人が広告を出す。水で満たした駐車場に広告を投影する。



六間通りの駐車場

水盤を使った宣伝
六間通りを歩いているとよく見る駐車場。車の交通の多い通りなので、便利だけどたくさんあると目立つ。そんな使われていない駐車場を利用してその持ち主や他の人が広告を出す。水で満たした駐車場に広告を投影する。

